

2023年2月20日

2022年度稲門会総会ご挨拶

稲門会会長 志賀 勉

合掌 春寒の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より稲門会活動におきまして多大なご協力を賜り改めて感謝申し上げます。

さて、2022年度は新型コロナ感染の確認後3年目となり依然大学当局の体育各部に対する行動制限が継続している中、現役部員の皆さんはそれを遵守し、全日本学生大会では総合準優勝並びに女子総合優勝の栄冠を勝ち取りました。また早慶戦ではコロナ感染者も出る厳しい環境下、保護者の皆様のご理解と本人意志確認の上、開催することができました。試合は残念な結果となりましたが、選手の皆さんの気迫と見事なチームワークに心からエールを送りたいと思います。

また、2022年度は創部60周年記念式典を予定しておりましたが、コロナ感染の改善が見通せず残念ながら断念致しました。代替記念事業としての機関誌「拳友」特別記念号の発刊は予定通り12月中に配布することができました。皆様からのご祝辞とご寄付、多数のご寄稿を頂き、ご協力有難うございました。

新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月から季節性インフルエンザと同じ5類に引き引き下げられる予定です。これからは徐々に現役の皆さんの活動環境も改善され、諸行事も復活するかと思います。稲門会としましても体育会、競技スポーツセンターと協力し、更なる現役支援を推進して参りたいと思いますので、本年度もご支援、ご協力方、宜しくお願い致します

末尾となりましたが、皆様、時節柄くれぐれもご自愛専一の程、祈念申し上げます。結手

<2023年度方針>

1. 現役部員支援活動を第一義とし着実に履行：
 - ・稲門会と現役部員間の情報交流、問題・課題を共有し、解決に向けた活動を実践する
 - ・特に新人部員獲得については、現役部員の年間活動を通じ支援活動を継続、強化する
2. 稲門会組織の見直しと適材適所の人選：
 - ・既存役員の役割分担の見直し並びに中堅・若手人材の起用、OBOG交流を図る
3. 「稲門会名簿（メアド）」の情報更新、「早稲田スポーツ名鑑」の情報入力への推進：
 - ・「稲門会名簿」（特にメアド）変更情報の事務局への連絡を周知徹底する
 - ・「早稲田スポーツ名鑑」は先ず体育会昇進以降の代を優先入力。各期幹事のご協力を得て、全期の写真、情報入力を図るべく推進する

以上